

社会福祉

平成28年度
前期 10問

問 1

次の文は、社会福祉の対象に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい

- A. 家庭内の人間関係に生じた問題は、人間関係の調整を必要とするのですべて社会福祉の対象となる。
- B. 家庭内の介護問題は、今日社会福祉の対象となっている。
- C. 個人の病気は生活上の苦しみの一つであるから、病気そのものが社会福祉の対象となる。
- D. 個人が福祉サービスを必要と感じていれば、その個人は社会福祉の対象となる。

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

回答

4

解説

×

A.家庭内の人間関係に生じた問題は、人間関係の調整を必要とするのですべて社会福祉の対象となる。

家庭内の人間関係に生じた問題は、そのすべてを社会福祉サービスで解決はできない。
介護問題や虐待問題等であれば、社会福祉となる。

○

B.家庭内の介護問題は、今日社会福祉の対象となっている。

×

C.個人の病気は生活上の苦しみの一つであるから、病気そのものが社会福祉の対象となる。

個人の病気は医療の問題であり、社会福祉とはならない。

×

D.個人が福祉サービスを必要と感じていれば、その個人は社会福祉の対象となる。

福祉サービスは、当事者が申し込まなければ対象とはならない。

問2 次の文は、社会福祉と国家の責任の関係に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 国家の責任として全国一律の社会保障制度を確立し、社会保険や福祉サービス等のすべての国民が安心して生活できる基盤整備を行ったのは第二次世界大戦後のことであった。
- B. 社会福祉事業は、国及び地方公共団体が責任を持って経営するものとして民間に責任転嫁してはならないと理解され、未だに民間事業者は参入できない。
- C. 国と地方公共団体の関係は地方分権の潮流の中で変化し、今日すべての権限は地方公共団体に移譲された。
- D. 社会福祉は公的な社会保障制度の体系の一部であり、社会福祉関係法規に「国の責務」、「地方公共団体の責務」に関する規定は多くあるが、「国民の責務」に関する規定は存在しない。

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

回答

3

解説

○

A. 国家の責任として全国一律の社会保障制度を確立し、社会保険や福祉サービス等のすべての国民が安心して生活できる基盤整備を行ったのは第二次世界大戦後のことであった。

国家の責任として全国一律の社会保障制度を確立したのは、戦後である。その元となっているのは、日本国憲法第25条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」

×

B. 社会福祉事業は、国及び地方公共団体が責任を持って経営するものとして民間に責任転嫁してはならないと理解され、未だに民間事業者は参入できない。

社会福祉事業は、民間でも実施できる。具体的には、保育園は株式会社が運営している場合もある。

×

C.国と地方公共団体の関係は地方分権の潮流の中で変化し、今日すべての権限は地方公共団体に移譲された。

今日、すべての権限は、地方公共団体に移譲されていない。いまだに国の権限が強く残る。

×

D.社会福祉は公的な社会保障制度の体系の一部であり、社会福祉関係法規に「国の責務」、「地方公共団体の責務」に関する規定は多くあるが、「国民の責務」に関する規定は存在しない。

国民の責務であるが、例えば知的障害者福祉法第二条の二では、「国民は、知的障害者の福祉について理解を深めるとともに、社会連帯の理念に基づき、知的障害者が社会経済活動に参加しようとする努力に対し、協力するように努めなければならない。」とある。

問3 次の文は、社会福祉の事業に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.少年院を仮退院した後の保護を行う更生保護事業は、社会福祉事業に含まれる。
- B.生活協同組合が組合員のために行う事業は、社会福祉事業に含まれる。
- C.近隣地域における住民の生活の改善及び向上を図るための隣保事業は、社会福祉事業に含まれる。
- D.生計困難者のために、無料又は低額な料金で診療を行う事業は、社会福祉事業に含まれる。

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

回答

5

解説

×

A.少年院を仮退院した後の保護を行う更生保護事業は、社会福祉事業に含まれる。

×

B.生活協同組合が組合員のために行う事業は、社会福祉事業に含まれる。

○

C.近隣地域における住民の生活の改善及び向上を図るための隣保事業は、社会福祉事業に含まれる。

○

D.生計困難者のために、無料又は低額な料金で診療を行う事業は、社会福祉事業に含まれる。

社会福祉事業法第二条（定義）の4

「この法律における「社会福祉事業」には、次に掲げる事業は、含まれないものとする。

- 一 更生保護事業法（平成七年法律第八十六号）にいう更生保護事業（以下「更生保護事業」という。）
- 二 実施期間が六月（前項第七号に掲げる事業にあつては、三月）を超えない事業、
- 三 社団又は組合の行う事業であつて、社員又は組合員のためにするもの」

問4 次の文は、保育所が保護者支援を行う際の実際場面に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.子どもへの虐待が疑われたので、保護者の了解を得ずに児童相談所に通告した。
- B.子どもの障害が疑われたので、保護者の了解を得ずに、囑託医に診察してもらった。
- C.障害児保育を実施している保育所において、熟練した保育士が担当しているので、特に専門機関の助言を受けることはない。
- D.保育士は、保護者に対する相談・助言を行う際には、必要に応じてより専門性の高い知識・技術を有する専門家などによるコンサルテーションやスーパーバイザーによるスーパービジョンを活用することがある。

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | × | ○ |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

回答

1

解説

○

A.子どもへの虐待が疑われたので、保護者の了解を得ずに児童相談所に通告した。

子どもの虐待の疑いがある場合は、児童相談所への通告義務がある。

×

B.子どもの障害が疑われたので、保護者の了解を得ずに、嘱託医に診察してもらった。

子どもの障害が疑われている場合、嘱託医に診せる前に、まずは保護者に話をすることが必要である。

×

C.障害児保育を実施している保育所において、熟練した保育士が担当しているので、特に専門機関の助言を受けることはない。

障害児保育を実施している場合、地域の専門機関との連携が欠かせない。

○

D.保育士は、保護者に対する相談・助言を行う際には、必要に応じてより専門性の高い知識・技術を有する専門家

などによるコンサルテーションやスーパーバイザーによるスーパービジョンを活用することがある。

保育士が受けるスーパービジョンのことであり、保育士の能力向上には必要な内容である。

問5

次の文は、「民法」における親権の内容に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A.親権を行う者は、子の利益のために子の監護及び教育をする権利を有し、義務を負う。

B.子は、親権を行う者が指定した場所に、その居所を定めなければならない。

C.子は、親権を行う者の許可を得なければ、職業を営むことができない。

D.親権を行う者は、子の財産を管理し、かつ、その財産に関する法律行為についてその子を代表する。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

回答

1

解説

Aは、民法第820条に規定されている。

Bは、民法第821条である。

Cは、民法823条である。

Dは、民法第824条である。

よってすべて○である

問6

次の文は、民生委員・児童委員に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.無給で、任期は5年である。
- B.都道府県知事の推薦によって、厚生労働大臣が委嘱する。
- C.生活保護制度に関して、福祉事務所の事務の執行に協力する。
- D.児童委員協議会は、民生委員協議会と同時に開催してもよい。

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

回答

3

解説

×

A.無給で、任期は5年である。

民生委員法第十条は、次のように記している。「民生委員には、給与を支給しないものとし、その任期は、三年とする。ただし、補欠の民生委員の任期は、前任者の残任期間とする。」

○

B.都道府県知事の推薦によって、厚生労働大臣が委嘱する。

同法第五条は、次のように記している。「民生委員は、都道府県知事の推薦によつて、厚生労働大臣がこれを委嘱する。」

○

C.生活保護制度に関して、福祉事務所の事務の執行に協力する。

同第十四条は、次のように示している。「五 社会福祉法に定める福祉に関する事務所(以下「福祉事務所」という。)その他の関係行政機関の業務に協力すること。」

○

D.児童委員協議会は、民生委員協議会と同時に開催してもよい。

民生委員は、児童委員も兼ねているため、協議会は同時開催してもよい。

問7 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

深夜、Fちゃん(1歳)が腹痛のため市立病院の救急外来に救急搬送された。母親Gさんが付き添っていた。診察時に、身体に殴られたような跡が何か所か見つかった。腹痛も病気というより、殴打によるものであることは、紫色の内出血によって明らかだった。

【設問】

次の文は、診察をした医師の対応である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

A. 児童相談所に直ちに通告した。

B. 医師はGさんの情緒不安定な状態に疑念を抱いたため、後日同病院の心療内科を受診するよう勧め、親子を帰宅させた。

C. Gさんに、後日児童相談所に相談に行くように勧め、親子を帰宅させた。

D. 通常の患者のように診断・治療を行っただけで、親子を帰宅させた。

(組み合わせ)

| | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

回答

3

解説

このケースは、明らかに虐待の疑いがあり、ただちに児童相談所に通告をする必要がある。

子どもの年齢的にも時間の猶予はない。

よってAは○であり、それ以外は×である。

○

A. 児童相談所に直ちに通告した。

×

B. 医師はGさんの情緒不安定な状態に疑念を抱いたため、後日同病院の心療内科を受診するよう勧め、親子を帰宅させた。

×

C. Gさんに、後日児童相談所に相談に行くように勧め、親子を帰宅させた。

×

D. 通常の患者のように診断・治療を行っただけで、親子を帰宅させた。

問 8 次の文は、国際生活機能分類(ICF)に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A. 疾病に関する国際分類である。
- B. 各構成要素の間には相互作用がある。
- C. 教育分野での活用は想定していない。
- D. 生活機能とは、「活動」「参加」のみを指す。

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

回答

4

解説

×

A. 疾病に関する国際分類である。

ICFは、障害に関する国際的な分類である。

○

B. 各構成要素の間には相互作用がある。

ICFの視野として、「人の生活機能と障害は、健康状態（病気〈疾病〉，変調，傷害，ケガなど）と背景因子とのダイナミックな相互作用と考えられる。」

×

C. 教育分野での活用は想定していない。

「ICFは本来、健康分類および健康関連分類であるが、保険，社会保障，労働，教育，経済，社会政策，立法，環境整備のような他の領域でも用いられる。
教育ツールとして：カリキュラムの立案，市民啓発，ソーシャルアクション。」

×

D. 生活機能とは、「活動」「参加」のみを指す。

生活機能と障害は、このとおり活動・参加のみではない。心身機能と身体構造もある。

< 参考 : ICF の概念 >

| | 第1部：生活機能と障害 | | 第2部：背景因子 | |
|-------|---|--|--|-------------------|
| 構成要素 | 心身機能・ 身体構造 | 活動・参加 | 環境因子 | 個人因子 |
| 領域 | 心身機能 身体構造 | 生活・人生領域 (課題, 行為) | 生活機能と障害への 外的影響 | 生活機能と障害への 内的影響 |
| 構成概念 | 心身機能の変化 (生理的) 身体構造の変化 (解剖学的) | 能力 標準的環境における課題の遂行 実行状況 現在の環境における課題の遂行 | 物的環境や社会的環境, 人々の社会的な態度による環境の特徴がもつ促進的あるいは阻害的な影響力 | 個人的な特徴の影響力 |
| 肯定的側面 | 機能的・構造的 統合性 | 活動 参加 | 促進因子 | 非該当 |
| | 生活機能 | | | |
| 否定的側面 | 機能障害 (構造障害を含む) | 活動制限 参加制約 | 阻害因子 | 非該当 |
| | 障害 | | | |

問9 次の文は、地域をとらえる視点に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.地域の教育力向上の策である放課後児童健全育成事業は、保護者の就労等の条件なしに、すべての小学校就学児童に遊び場及び生活の場を与えるものである。
- B.相談援助において、地域を基盤とする援助システム構築の必要性は高まっている。
- C.子どもたちと地域社会の交流は子どもたちの生活経験を豊かにし、人とかかわることの喜びや人への信頼感が醸成される。
- D.保育所において、育児不安を持つ保護者に関しては希望に応じて個別の支援が必要となるが、さらに、子育て家庭の交流の場の提供まで行うことが望ましい。

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | × |

回答

4

解説

×

A.地域の教育力向上の策である放課後児童健全育成事業は、保護者の就労等の条件なしに、すべての小学校就学児童に遊び場及び生活の場を与えるものである。

放課後児童健全育成事業は、児童福祉法第6条の3第2項の規定に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図るものである。

○

B.相談援助において、地域を基盤とする援助システム構築の必要性は高まっている。

相談援助の場合、地域の社会資源をネットワーク化することが重要なポイントとなる。



○

C.子どもたちと地域社会の交流は子どもたちの生活経験を豊かにし、人とかかわることの喜びや人への信頼感が醸成される。

子どもたちと地域社会の交流は、子どもたちにさまざまな人々との交流を促し、地域との関係性も向上することから、進んで取り組む必要がある。



○

D.保育所において、育児不安を持つ保護者に関しては希望に応じて個別の支援が必要となるが、さらに、子育て家庭の交流の場の提供まで行うことが望ましい。

保育所保育指針解説書P. 189には、地域における子育て支援に関する記述がある。そこには、ア地域の子育ての拠点としての機能として、（ウ）子育ての家庭の交流の場の提供及び交流の促進がある。

問10

次の文は、関連援助技術についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A.スーパービジョンは、保育士の経験不足を補う教育的機能、支持的機能、管理的機能がある。
- B.カウンセリングは、聞き上手な保育士なら誰でも行うことができる容易な援助技術である。
- C.ケアマネジメントは、ケースの発見から終結に至る過程をもち、計画した支援をモニタリングすることが求められる。
- D.ネットワーキングは、異なる専門職が連携して支援することを意味しており、ボランティアがネットワークに入り込むことはない

| (組み合わせ) | A | B | C | D |
|---------|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

回答

1

解説

○

A.スーパービジョンは、保育士の経験不足を補う教育的機能、支持的機能、管理的機能がある。

スーパービジョンは、熟練した指導者が示唆や助言を与えながら行う教育である

×

B.カウンセリングは、聞き上手な保育士なら誰でも行うことができる容易な援助技術である。

カウンセリングは、専門の教育を受けたカウンセラーによって行われる専門業務である。誰でもできるわけではない。

○

C.ケアマネジメントは、ケースの発見から終結に至る過程をもち、計画した支援をモニタリングすることが求められる。

ケアマネジメントは、対象者のニーズを明らかにし、個々の状況にあわせて、社会資源を活用しながらきめ細かいケアプランを作成し、これに基づいて実際に支援を提供していく仕組みのことである。

×

D.ネットワーキングは、異なる専門職が連携して支援することを意味しており、ボランティアがネットワークに入り込むことはない

ネットワーキングは、その名の通り、支援をネットワーク化することである。ボランティアも重要な一部といえる。